

学校名 川口市立桜町小学校
所在地 川口市桜町2丁目12番10号
電話 048-282-5655

1 本校の概要

児童数 358 名、通常学級 12、特別支援学級 3 で構成され、「緑と笑顔がいっぱいの桜小」をキャッチフレーズに教育活動に取り組んでいる。昨年度から図書館司書（週 3 日）が配置され、2 年目を迎えた。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ア 学校図書館司書を活用した取組
- イ 児童の読書活動を広げる取組

(2) 実践の概要

- ア 学校図書館司書との連携

図書館司書によるお話し会



季節に応じた紙芝居や絵本の読み聞かせを行い、関連した工作や折り紙などの活動も合わせて実施したことで児童の興味も膨らんだ。

図書館司書・図書委員児童によるお話し会



図書委員児童が紙芝居の読み聞かせを行った。完成度の高い読み聞かせで、集まった児童が皆、真剣に聞き入っていた。

読書感想文名人になろう

夏休みの課題、読書感想文を上手に書くための秘密（書き方ガイド・昨年度の入選作品を掲載したプリント資料）を図書館司書さんから教えてもらった。

イ 児童の読書活動を広げるために

リクエストポスト

児童にとって魅力的な図書室にするためには、児童が読みたいと思う本をそろえることである。

新規購入図書のリクエストを児童から募り、選書に活かした。「新しい本はいつ届くの？」と心待ちにする児童がたくさんいた。



読書ビンゴ

読書量が多くても、読んでいる本が同じ分野に偏っている児童が少なくない。色々な分野の本に触れてもらう手立てとして「読書ビンゴ」に取り組んだ。1ヶ月弱の取り組み期間を設定し、ビンゴを達成した児童にはくじ引きをして景品（図書ボランティア・図書委員作製）を贈呈した。



中身の见えないわくわくブック

夏休み・冬休み中の貸し出しに当たり、なかなか本を選べない児童のために、おすすめの本をラッピングし、簡単な内容紹介文を添付して配架した。きれいにラッピングされたたくさんの本のコーナーは人だかりとなり、大盛況だった。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

児童の読書活動をより豊かにするための取り組みができた。児童にとって図書室が一層魅力的な部屋となり、図書室を利用する児童増につなげることができた。ビンゴの取組により、これまであまり貸し出されなかった本の利用も見られた。

(2) 課題

学校図書館司書が配置になって2年目、昨年度手掛けられなかった取組も実践できた。しかし、今年度も、図書館司書は2校兼務のため不在の日があり、連携をとったり、活動を円滑に企画・実践したりする上では十分ではない。今後、連携の在り方を考えていく必要がある。

(3) おわりに

「本は心の栄養」である。子どもたちの本離れが進む今こそ、子どもたちと本を結ぶ活動を今後も続けていきたい。